



超
ナ
マ
イ
キ
で
ワ
ガ
マ
マ
な
ご
主
人
様
と
俺
2

← 立花 颯汰
たちばな そうた

→ 高見澤 秋斗
たかみざわ しゅうと



当作品は性的表現を含む為、18歳未満の方の閲覧や購入は禁止としています。

しゅうと
秋斗





大事な
お話があるの

なあに？
お父さま
お母さま

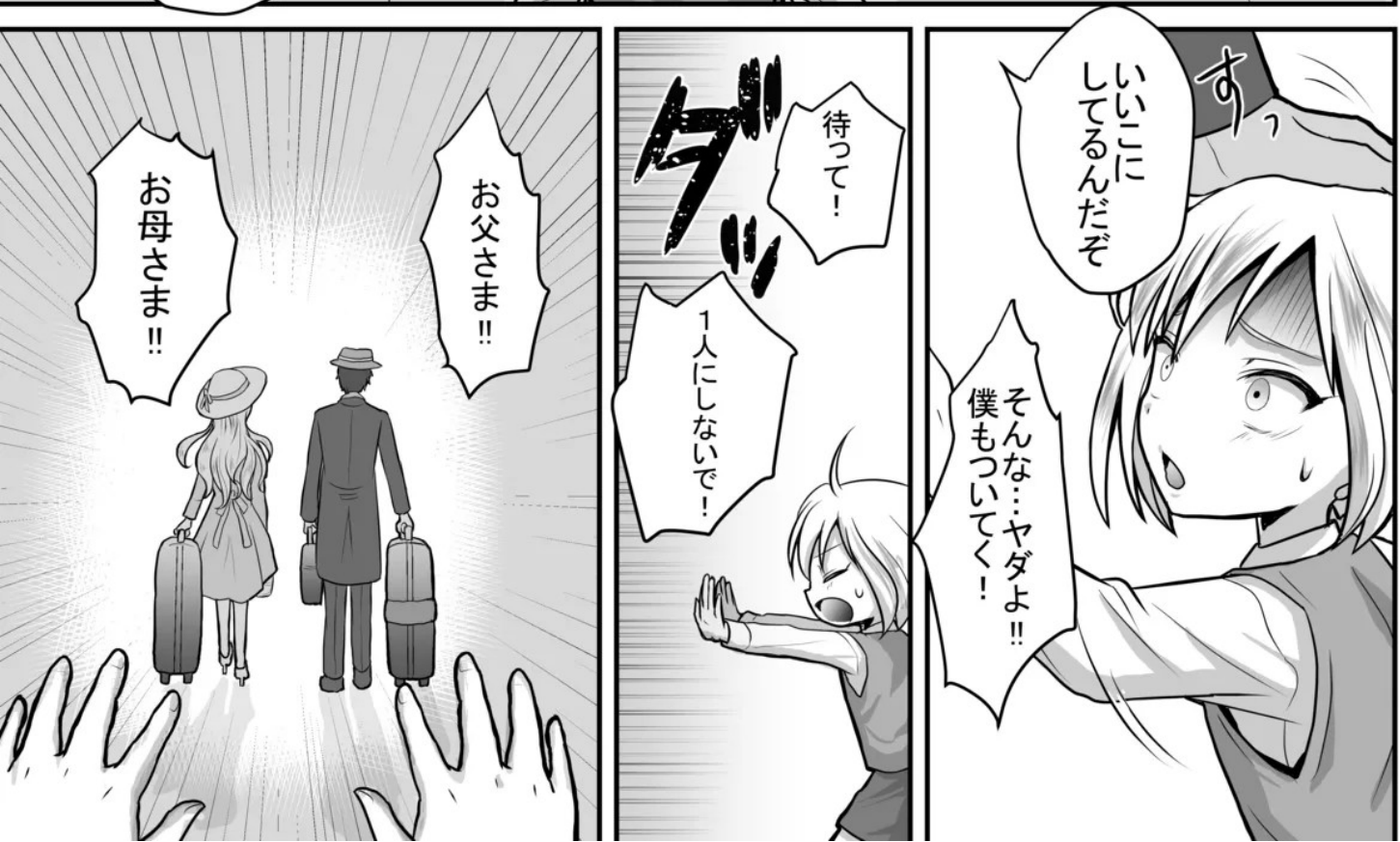


お父さんとお母さんね、
外国でお仕事
しなくちゃいけなく
なったの

しばらく日本には
戻ってこれないんだ

秋斗はここで
お留守番しててね

困ったことがあったら
お手伝いさんに
頼ってくれ



いいこに
してるんだぞ

そんな...ヤダよ!!
僕もついてく!!

待って!

1人にしないで!

お父さま!!

お母さま!!



.....と

なんだよコレ?

じゅんじゅん...

こんなのいつも
つかないじゃん...

ハア

ハア

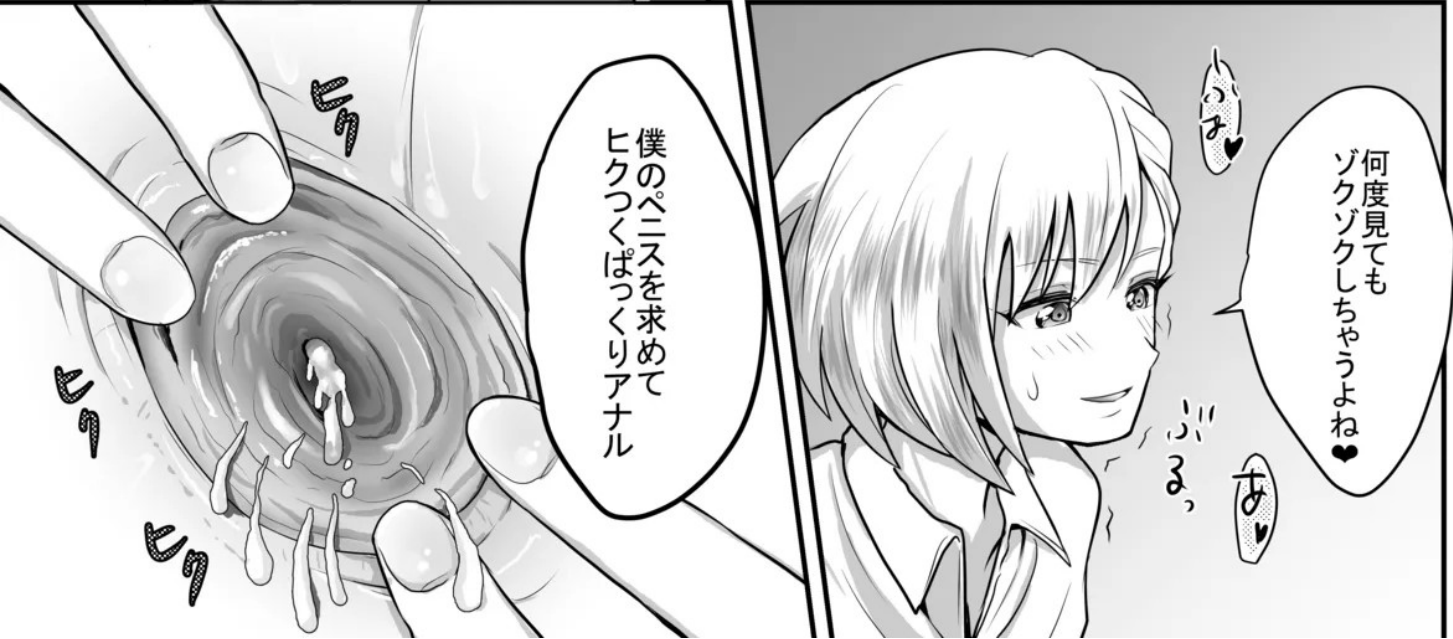
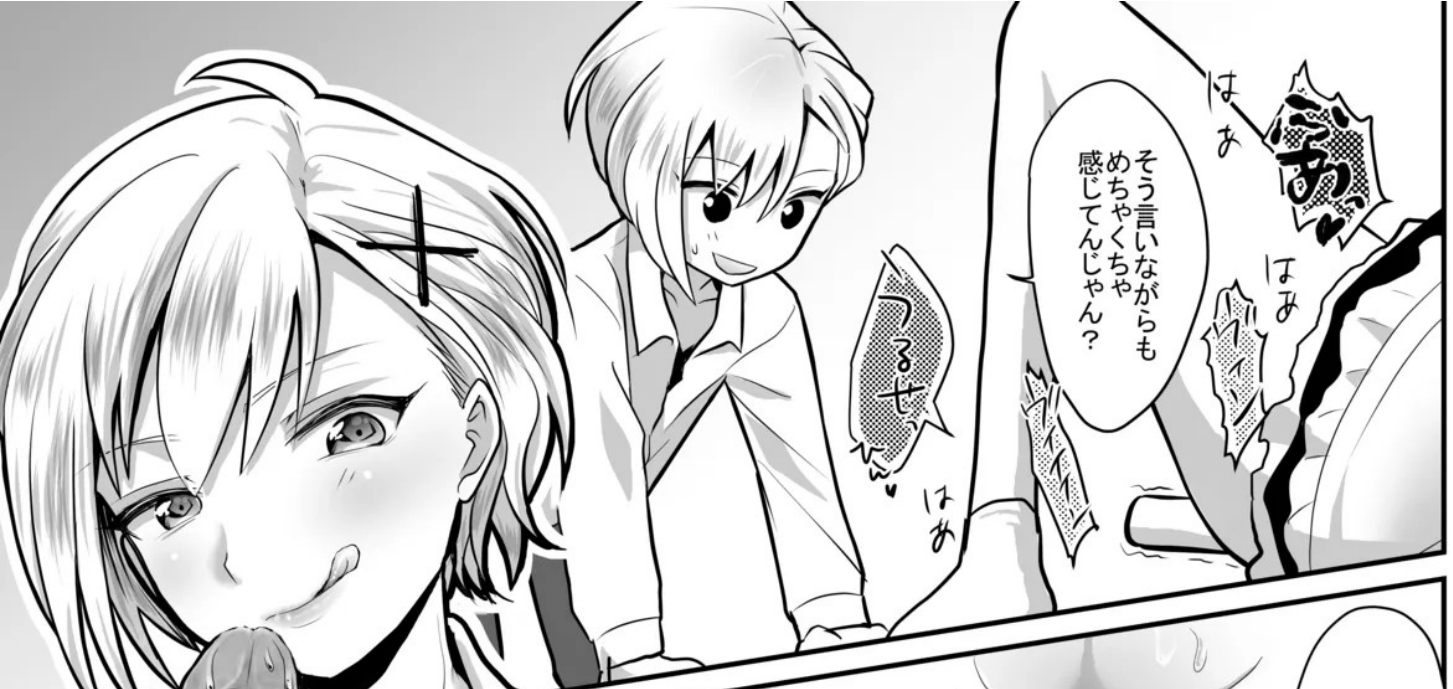
ハア

ハア

あ

グググ

んんん











そういえば
今日の秋斗…

いつもは
一緒にやっ
てくれるのに



おい、ちよっ
待つ…!!



僕はシャワーを
浴びてくるから
その間に部屋を
キレイにしといてよ



シーツ取り替え
だけでいいかな

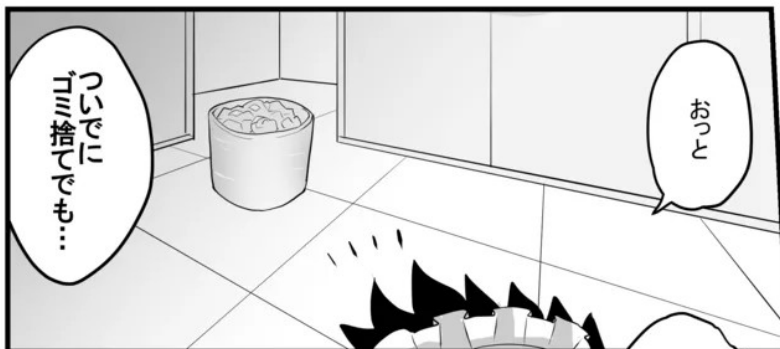


きゅっ



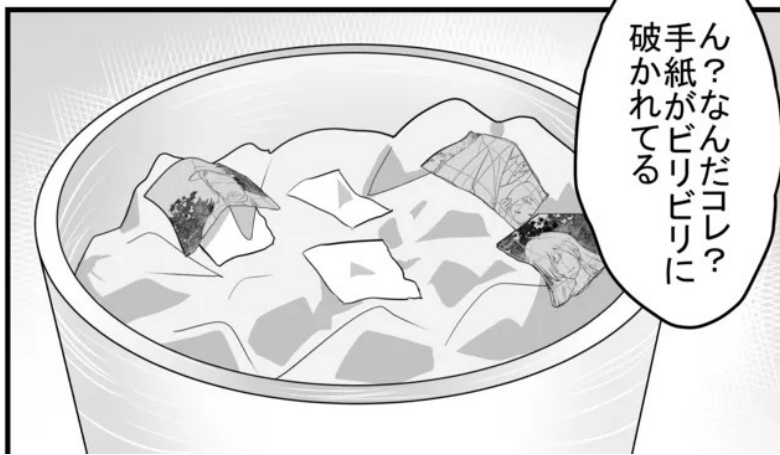
いつもよりずっと
不機嫌だったな…

おもちゃなんかも
使った事なかったのに
いきなりだったし…



ついでに
ゴミ捨てても…

おっと



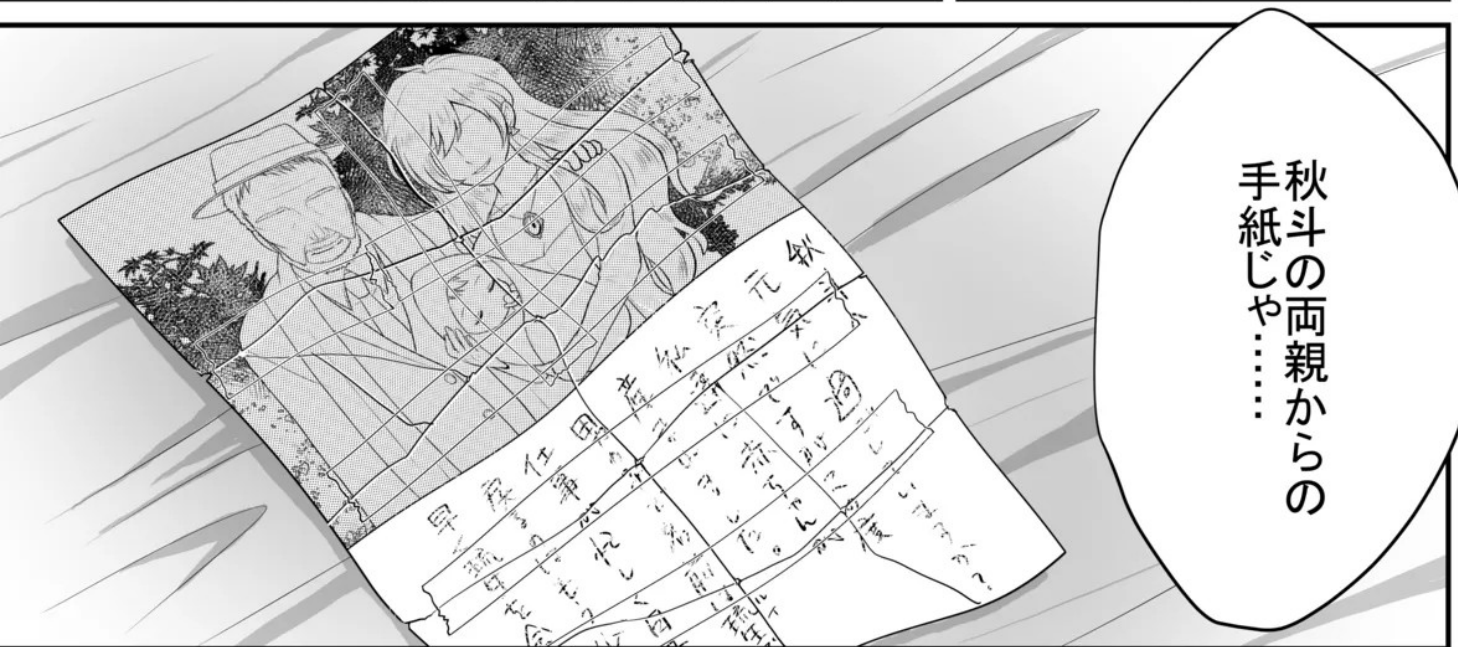
ん？なんだコレ？
手紙がビリビリに
破かれてる



床は拭き掃除…っと

精液こまで
飛んでたのか…

かみ





両親とは数年
会っていないって
聞いた事はある



両親が海外で起業して
大成功してるって
事くらいしか
わかんないや

実は秋斗の事
全然知らないんだよな

俺が住み込みで
この家に勤め始めてから
5か月経つけど



まあ、とりあえず



それは僕の予想を
上に行く内容だった

なんだよコレ……!

両親が送ってきたのは

弟が産まれたという
知らせだった

その写真には
満面の笑みで映る両親と

何も知らずにスヤスヤ
眠る弟の姿があつて

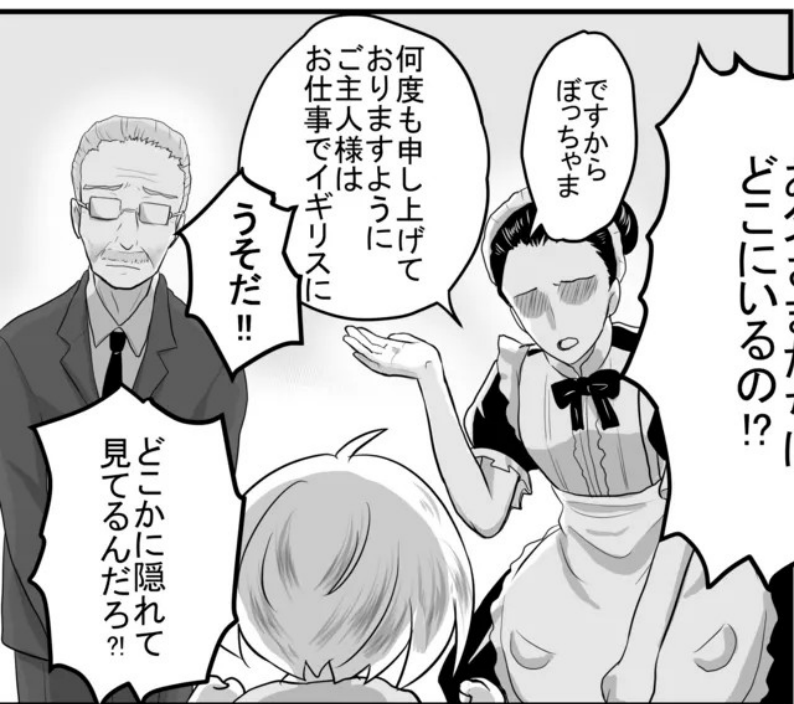
僕は無性に腹が立ち

気づけば破り
捨てていた



あの写真を見て
ひと目でわかった

きっとあの家族に
僕は必要じゃ
ないんだ



何度も申し上げて
おりますように
ご主人様は
お仕事でイギリスに

うそだ!!

どこかに隠れて
見てるんだろ?!

ですから
ぼっちゃま

お父さまたちは
どこにいろの!?

ねえ! 本当の事
教えてよ!

秋斗 8才



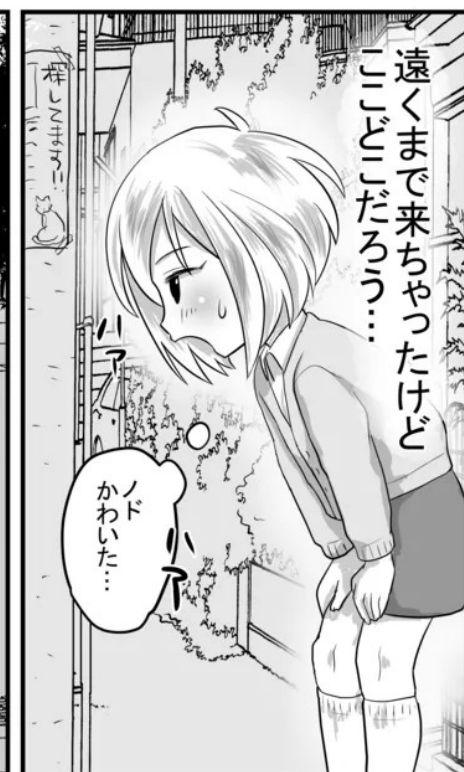
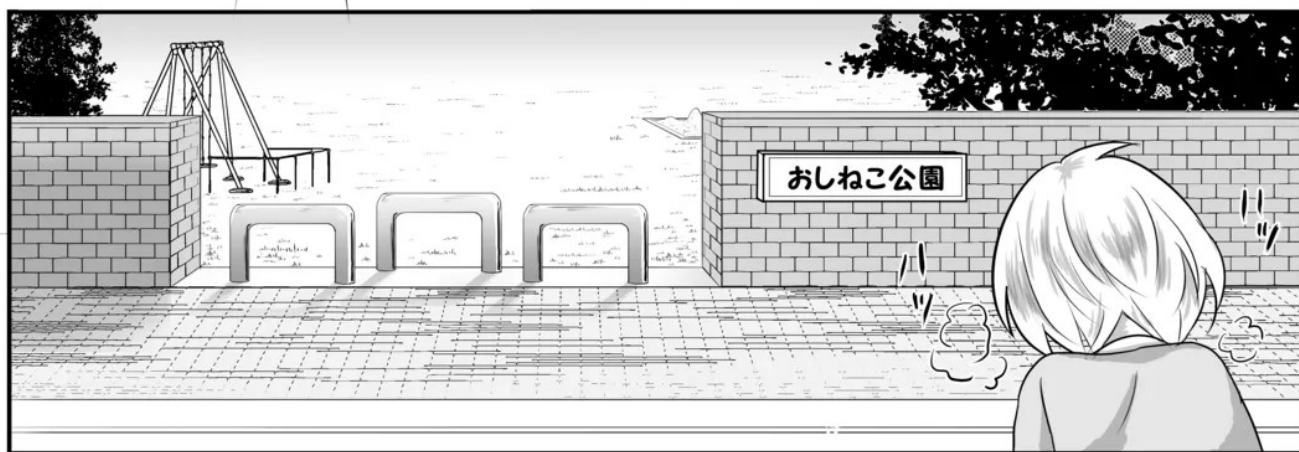
そうだ!
アレなら...!!

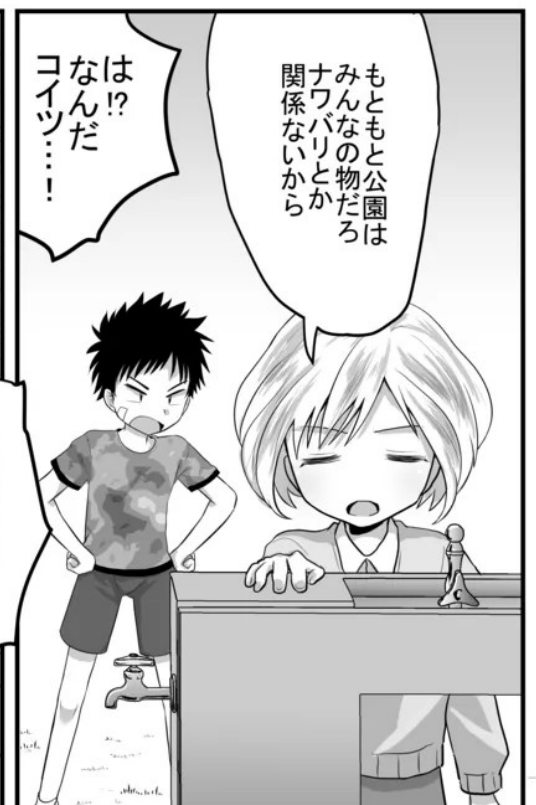
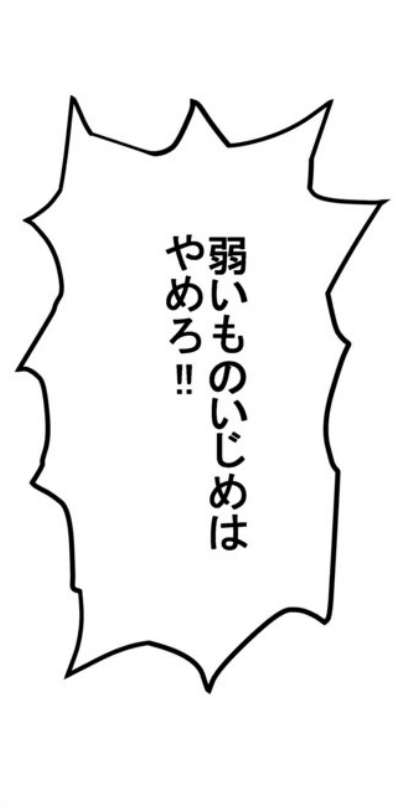
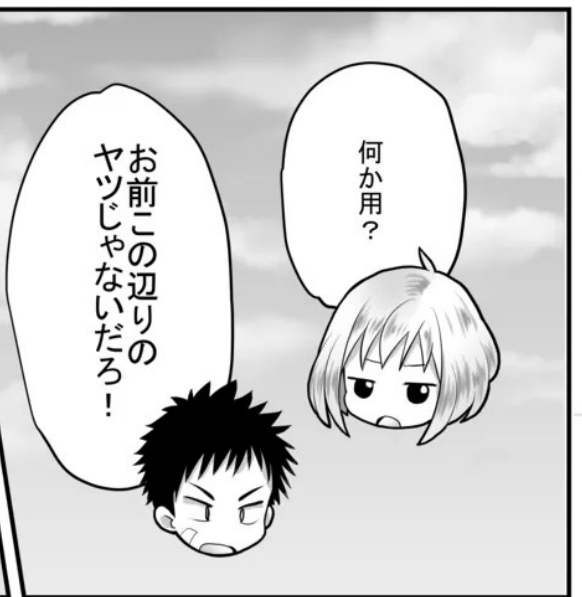
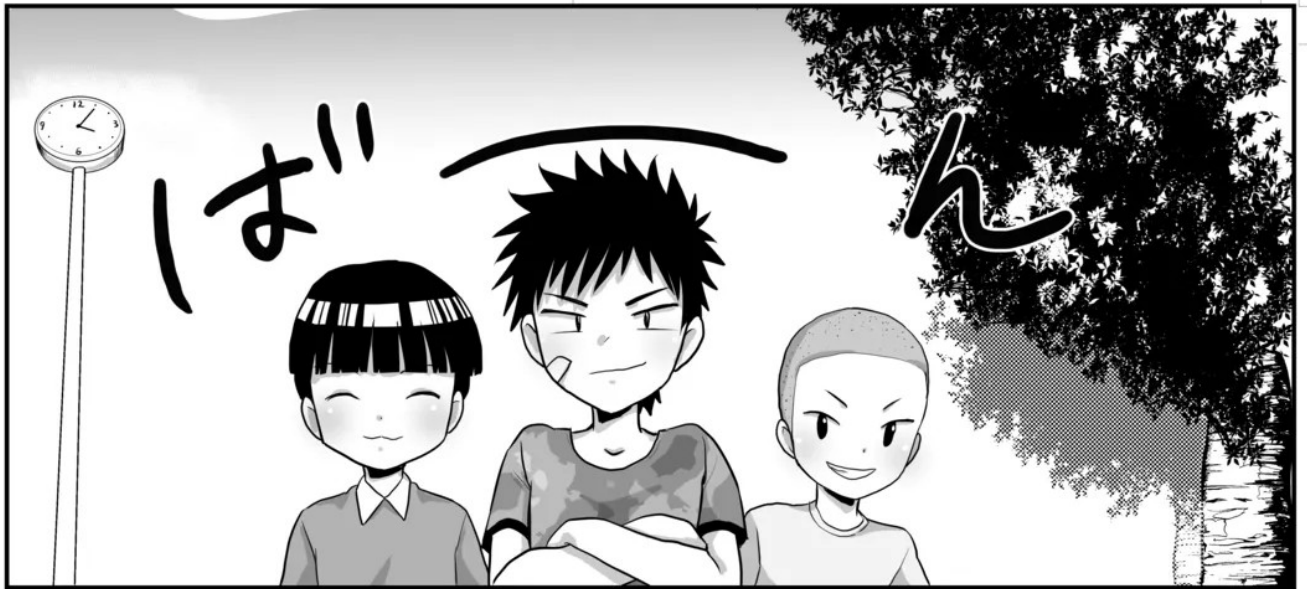


あつ!
ご主人様の
大切なツボが!!

えいっ!!



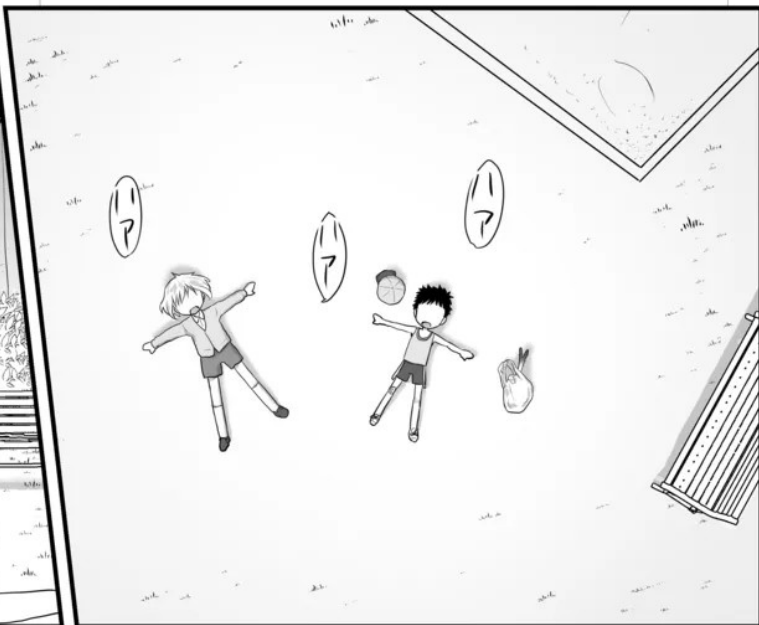


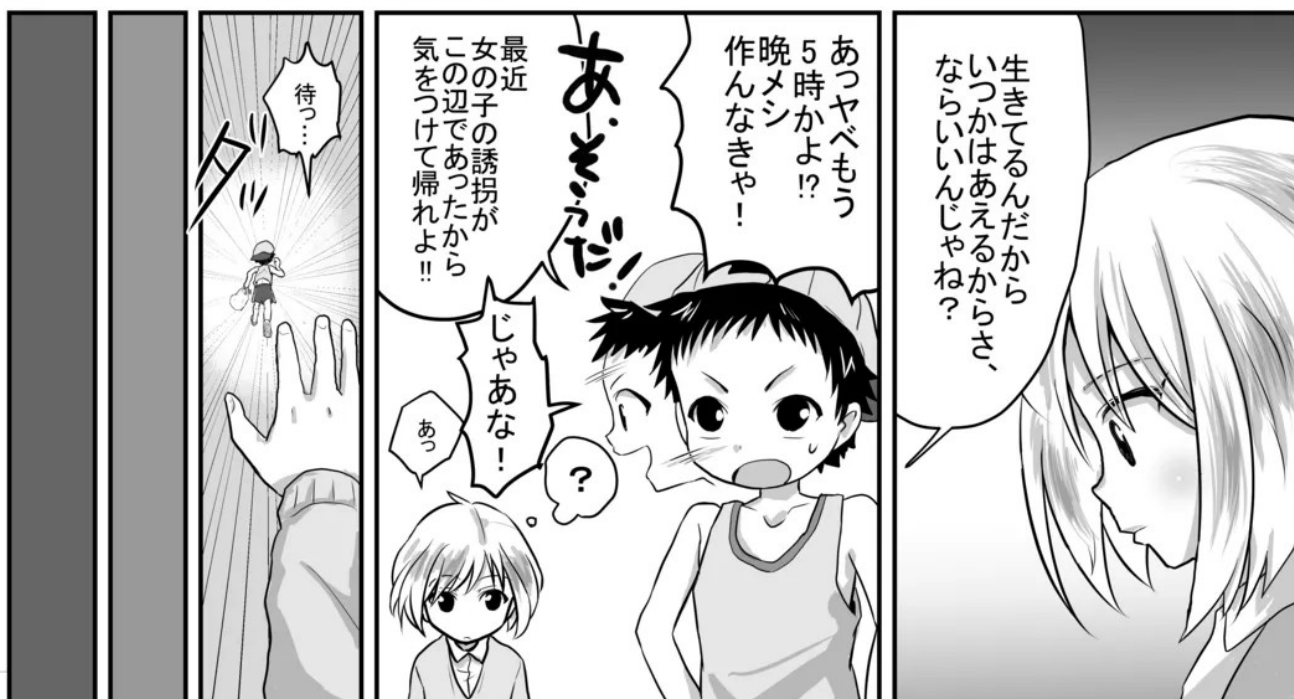


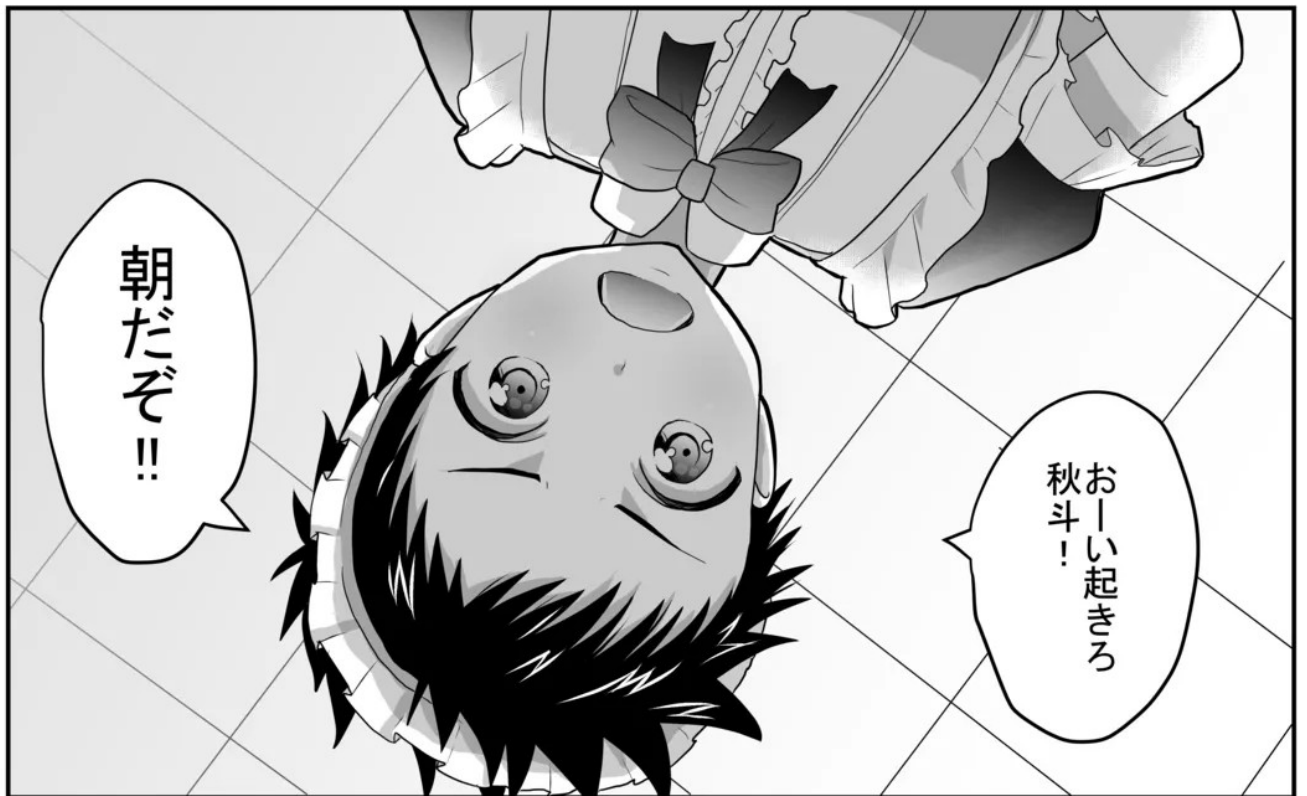


颯汰 7才









To be continue...

CHARACTER:



立花
颯汰

頭は悪いが炊事・洗濯・掃除などの家事全般が得意な中○1年生。
父は他界し、母が1人で働いているため、長男である颯汰が母親
代わりとなって家事や弟妹の育児をこなすママ的な男の子。
朝の新聞配達の仕事をしている最中、秋斗に声をかけられこの
屋敷のメイドとなる。
秋斗のワガママに当初は困惑していたが、今では扱いになれ、
そのワガママを少し楽しんでいる。
秋斗の両親に会ったことはないが、両親の事を秋斗が誇らしげに
話すのを聞いていて実は寂しいんじゃないかと思い始め、母性が
芽生えている。



CHARACTER:



頭と顔は超絶良いが、性格にかなりの難ありの中〇2年生。
颯汰とは違う、私立の学校に通っている。
両親が仕事の為イギリスにいる。
幼少期から日本で離れて暮らしているため、どんどんワガママになり、メイドたちを日々悩ませていた。
実は過去に颯汰に出会っており(颯汰は気づいていない)その時一目ぼれしていた。
颯汰が新聞配達の仕事をしていることを知り、屋敷へメイドとして雇うことに成功…したのはいいが、素直になれず、コミュ障も災いして、自分の気持ちの高ぶりを抑えきれず、つい颯汰を犯してしまう。(かわいいのが悪い)(犯罪です)
自分の気持ちが抑えきれないジレンマと、深く追及してこない颯汰に甘えている今の関係を修復し恋人になりたいのだが、素直になれるもんならとっくになっている。
でもいつか、気持ちを伝えたい。

同じキャラクターでの2回目の創作になります…。
本来は今回で完結したかったのですが、時間が足りず
また続く形になってすみません…。
うちに颯汰くんが来ないかなあ……。

発行日:2020.02.16
印刷:くりえい社 様
サークル:Lovely complex
発行者:忍猫
連絡先twitter◆@ninbyo0v0
pixiv◆233432
mail◆lovely.ninbyo@gmail.com

当作品はネット上を含む転載行為、複製、オークション、フリマ等の出品および
公開を禁止します。

special thanks! こゆび